品番
ASM-B型

タイガー
パーソナル加湿器
〈マイミスト〉

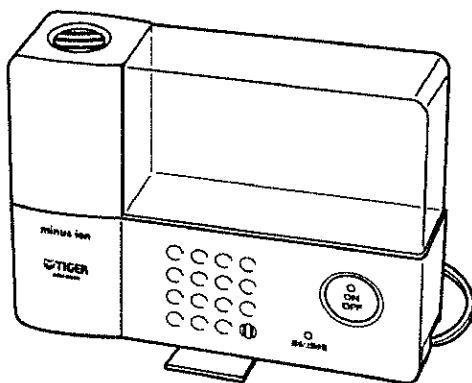
取扱説明書

〈保証書つき〉

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

お願い
ペットボトル（容量500mL専用）を水タンクのかわりに使用する場合は、ペットボトルの中をよく水洗いし、必ず水道水を入れて使用してください。（ペットボトルに入った市販のミネラルウォーターやアルカリイオン水などをそのまま使用しないでください。）
水タンクを使用するときも同様に水道水を入れて使用してください。（使えない水→3ページ参照）

点検、修理などを依頼されるときなどのために記入しておくと便利です。

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	TEL　（　　）

日本国内100V専用（交流100V以外の電源では使用できません。）

もくじ

minus ion

1 安全上のご注意　ご使用前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

※お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するために必ずお守りください。
※本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。
※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

注意事項は、誤った使いかたで生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

⚠警告
「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示します。

⚠注意
「傷害を負う、または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の例

この絵表示は行為を「禁止」する内容です。

（分解禁止）

この絵表示は行為を「強制」したり、「指示」したりする内容です。

（強制・指示）

（差し込みプラグを抜く）

⚠警告

交流100V以外では使用しない。
火災・感電の原因。

定格15A以上のコンセントを単独で使用する。
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火するおそれ。

電源コードは傷んだまま使用しない。
（傷つける・無理に曲げる・引っぱる・ねじる・たばねる・高温部に近づける・重いものを載せる・挟み込む・加工するなど）
電源コードが破損し、火災・感電の原因。

電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・発火の原因。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。
転倒させるとお湯が出てやけどをしたりするおそれがあるので充分注意すること。

⚠警告

蒸気孔・本体にさわったり、顔などを近づけない。
やけどの原因。

不安定な場所や本体を傾けて置かない。
転倒すると熱湯がこぼれ、やけどの原因。また安全装置の誤作動の原因。毛あしの長いカーペットなどの上には置かないようにすること。

本体を水につけたり、水をかけたりしない。
ショート・感電のおそれ。

通気孔、マイナスイオン発生口やすき間にピン、針金など金属物（異物）を入れない。
感電や異常動作してけがをするおそれ。

お手入れの際は必ず差し込みプラグをコンセントから抜く。また、ぬれた手で抜き差ししない。
感電やけがをするおそれ。

改造はしない。修理技術者以外の人は分解したり、修理をしない。
火災・感電・けがの原因。
修理はお買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口までご相談ください。

⚠注意

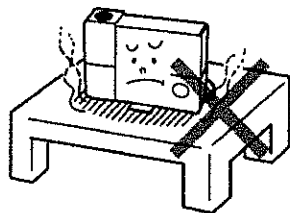
使用時以外は差し込みプラグをコンセントから抜く。
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

差し込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず差し込みプラグを持って引き抜く。
感電やショートして発火するおそれ。

使用中や使用直後に本体の移動、持ち運びはしない。
熱湯がこぼれ、やけどの原因。
運転停止の原因。

使用中や使用直後はお手入れをしない。
高温部に触れ、やけどの原因。

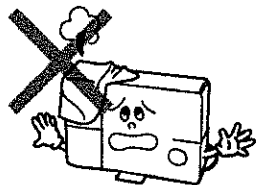
お願い

●熱に弱い物の上では使用しない。
テーブルなどが変色、変形するおそれ。

●水タンク（またはペットボトル）に水道水以外の水を入れない。

使えない水

●浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水、汚れた水など
水道水（飲料用）は、抗菌処理がされているが、その他の水は抗菌作用がないため、カビや雑菌が発生しやすい原因。

●温水（40℃以上）、ジュースなどの飲料水、化学薬品、芳香剤、洗剤を入れた水など
本体が変形し故障の原因。

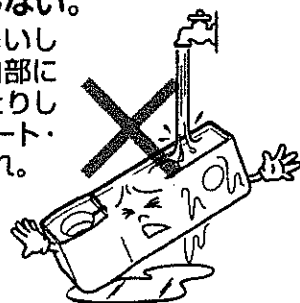
●蒸気孔をフキンなどでふさがない。
故障の原因。

●通気孔をふさいで使用しない。
故障の原因。

●スタンドは本体に対して90°の角度まで回転させて設置する。
正しい位置にスタンドをセットしないと本体が転倒してお湯が出てやけどをするおそれ。

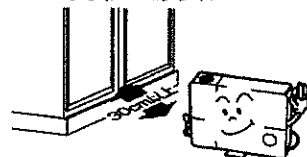
●片手で持ち運びしない。水タンク（またはペットボトル）を持って持ち運びしない。また、水タンク（またはペットボトル）を取りつけたままの本体の移動、持ち運びはしない。
本体は両手を使って水平に持ち運ぶこと。水やお湯もれによる故障の原因。運転停止の原因。

●使用後、蒸発皿に残った水を捨てるときは、差し込みプラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから行う。
やけどのおそれ。

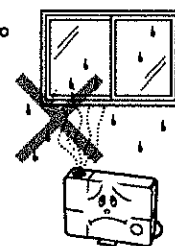
●蒸発皿のお手入れに洗剤は使用しない。
とくに、塩素系、酸性タイプの洗剤は有害ガスが発生し、健康を害するおそれ。また、故障の原因。

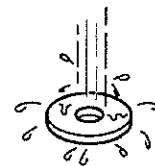
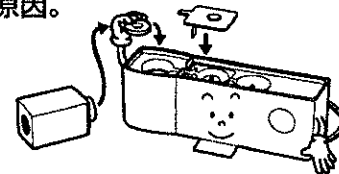
●丸洗いはしない。
本体を丸洗いしたり、本体内部に水を入れたりしない。ショート・感電のおそれ。

末永くご使用いただくために、必ずお守りください。

●直射日光のあたるところや、暖房器具の近くで使用しない。
水タンク（またはペットボトル）内の空気が膨張し、本体から熱湯があふれるおそれ。また、プラスチック部分の変形・変質の原因。

●壁や家具・天井などに直接蒸気をあてない。
壁、家具、天井やカーテンにシミがついたり変形の原因。

●テレビ・ラジオ・コードレス電話・エアコンなどから1m以上離して置く。
テレビ画面のチラツキや、雑音が入るなど電波障害の原因。

●差し込みプラグにほこりが付着している場合は、よくふきとる。
火災の原因。

●加湿しすぎない。
長時間連続で加湿すると結露などで室内をぬらしたり故障の原因。

●水タンク（またはペットボトル）の水は毎日新しい水道水と交換する。また本体内部は週2回程度定期的にお手入れする。
汚れや水あかで性能が低下したり、悪臭がするおそれがあるので、こまめにお手入れすること。

●クリーニングフィルターはこまめに手入れする。
蒸発皿の汚れが取れにくくなり故障の原因。また汚れや破損がひどくなったときは交換すること。

●蒸気孔本体、クリーニングフィルター、水路カバーをはずしたまま使用しない。
蒸発皿に水あかなどがたまり、故障の原因。

●凍結に注意。
使用しないときは水タンク（またはペットボトル）と本体から水をぬくこと。凍結したまま使用すると故障の原因。

●携帯時以外は本体をさかさにしない。
底部が水にぬれていると、底部から水が入り、故障の原因。

説明マークについて

本文中に記載されている説明マークは、下記の意味があります。

快適な加湿をするためのポイントと、商品を末永くお使いいただくためのお願いを記載しています。

2 お使いになる前に

各部のなまえとはたらき

蒸気孔

注意シール

蒸気孔本体

クリーニングフィルター（付属品）

本体

minus ion

TIGER

ON OFF

●水タンク
水タンクのかわりにペットボトル（容量500mL専用）を使用することもできます。（7ページ参照）

●専用キャップ
水タンクおよびペットボトルと兼用の部品です。どちらの場合にも必ず取りつけてください。

●通電ランプ（赤）
通電中は点灯します。

●［ON/OFF］キー
電源をON、OFFするときに使います。

●給水／上限水位ランプ（緑）
水タンク（またはペットボトル）の水がなくなると点灯します。また安全のため蒸発皿の水位が上がりすぎた場合、給水／上限水位ランプが点灯して運転が停止することがあります。その場合、一度本体内部の水を捨てて、水タンク（またはペットボトル）をセットし直してください。

●電源コード

差し込みプラグ（コンセントに差し込む）

●蒸発皿
ヒーターで水を加熱し、蒸気にします。
フッ素加工が施されています。

●水路カバー
使用後、とりはずしてお手入れができます。
ご使用の際は必ずセットしてください。

●専用キャップはめ込み位置

●スタンド
設置するときは本体に対して90°の角度に回転させて設置します。
（8ページ参照）

●マイナスイオン発生口
森林や高原など、自然界に豊富なマイナスイオン。このマイナスイオンを電気方式で大量に発生させることで、プラスイオンを中和させて空気を浄化します。
運転時は加湿をしながら、マイナスイオンを発生させてお部屋をリフレッシュします。

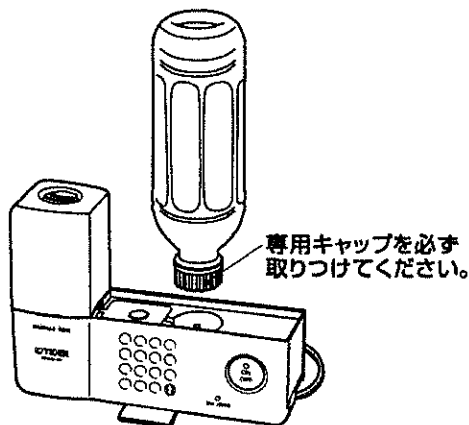
本体後面

※注意シールには安全に関する重要な内容を記載していますので、はがさないでください。

付属品の確認

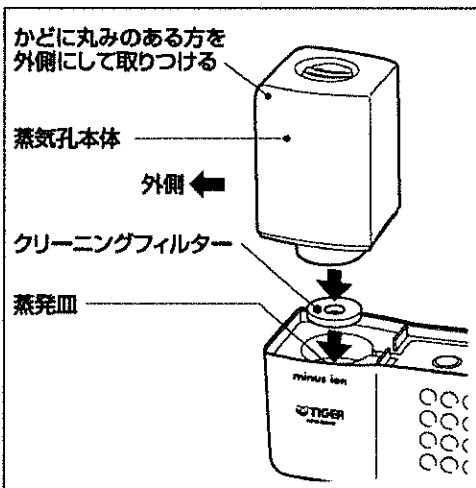
クリーニングフィルター（2枚）
蒸発皿に取りつけます（1枚は予備品です。）

専用ポーチ（1枚）
本体を携帯する時に収納できます。

水タンクのかわりにペットボトル（容量500mL専用）が使用できます

- ペットボトルは必ず容量500mLのものを使用してください。また水量がよく見えるよう無色透明のものをおすすめします。
- 市販のペットボトルには、付属の専用キャップを取りつけることができないものがありますので、必ず確認をして取りつけられるものを使用してください。また逆さにして水もれのないことを、充分確認してください。
- ペットボトルの飲料をそのまま使用しないで、中をよく水洗いして必ず水道水を入れてください。
- アルミ製のボトルや変形したペットボトルは使用しないでください。

各部の使いかた

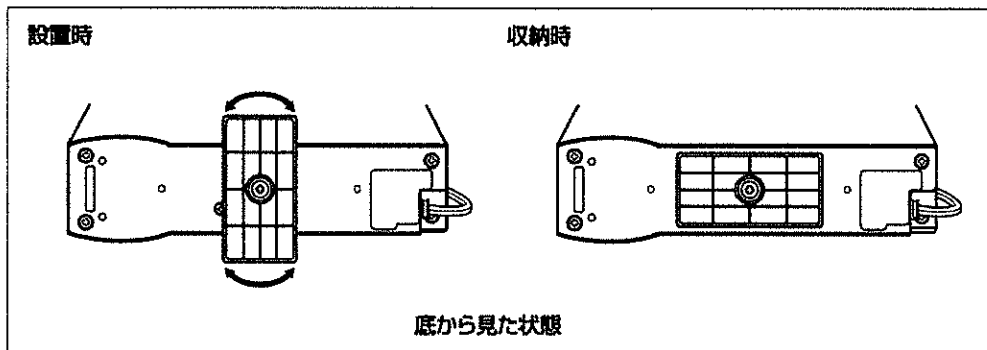
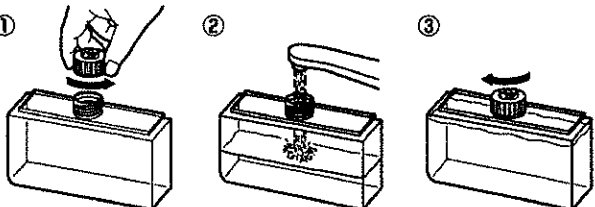
●クリーニングフィルター、蒸気孔本体の取りつけかた

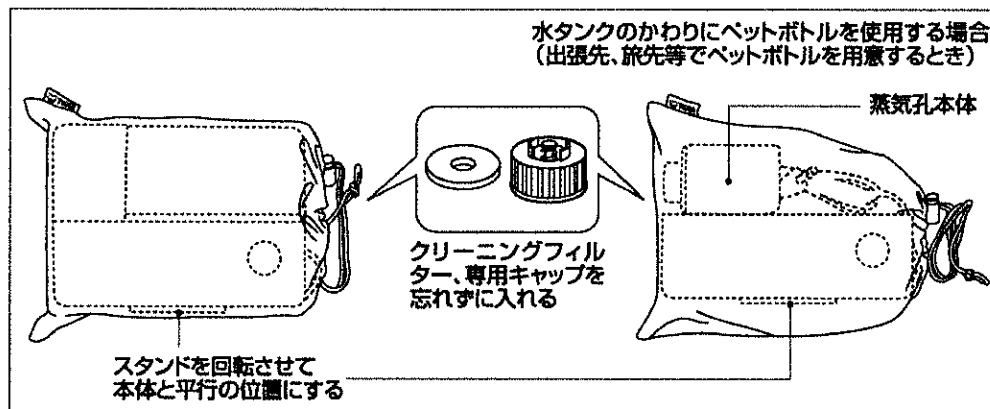
蒸発皿にクリーニングフィルターをセットして、蒸気孔本体を取りつけてください。

- クリーニングフィルターには白い粉（水道水のミネラル分）や水あかなどを吸着させて、蒸発皿に付着する汚れを少なくする働きがあります。
  クリーニングフィルターのない状態や、お手入れをしないで使用すると、蒸発皿の汚れが取れにくくなり故障の原因になります。

各部の使いかた

●スタンドの使いかた

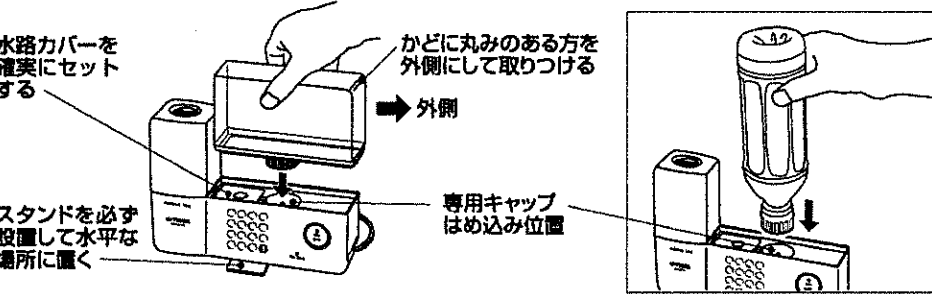
設置するときは必ずスタンドをまわして本体に対して90°の位置で止めて設置してください。
専用ポーチなどに収納するときは本体と平行の位置に回転させてください。

底から見た状態

- 設置時は本体の転倒防止のために必ずスタンドを設置時の図の位置にしておいてください。

●専用ポーチへの収納のしかた

本品を携帯するときは専用ポーチに収納して携帯してください。

- 携帯するときは各部品を忘れずに携帯してください。
  忘れた場合は携帯先で使用できなくなりますので充分ご注意ください。
- 携帯するときに各部に水がついている場合は、乾いた布で充分にふきとってポリ袋などに入れてから専用ポーチに収納してください。

3 加湿のしかた

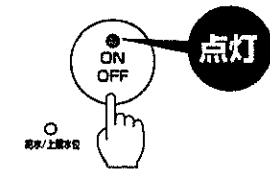
1 水タンクに水道水を入れる。（水タンクのかわりにペットボトル（容量500mL専用）も使用できます。）

水は水タンク（またはペットボトル）の半分以上から満水までの間に入れてください。

●水を入れたあと、専用キャップをしっかりと閉め、水がもれないことを確認してください。
●ペットボトルを水タンクのかわりに使用するときは必ず容量500mLのものを使用してください。それよりも容量の多いものや少ないペットボトルを使うと本体やペットボトルが転倒し、お湯や水が流出しますので使用しないでください。また使用前に入っていた飲料が混入しないよう、ペットボトルはよく水洗いしてから使用してください。

ペットボトルを使用する場合

●ペットボトルのキャップをはずし、本品の専用キャップを使用します。

2 水タンク（またはペットボトル）を本体にセットする。

お願い

●水タンクを取りつけるときは必ず上図の方向できっちりと収まるように取りつけてください。逆に取りつけるなど本体に正しくセットされていないと加湿できない、カラだき、または水もれのおそれがあります。
●本体の移動、持ち運びをする時は水タンク（またはペットボトル）を取りはずして行ってください。水やお湯もれ、運転停止のおそれがあります。

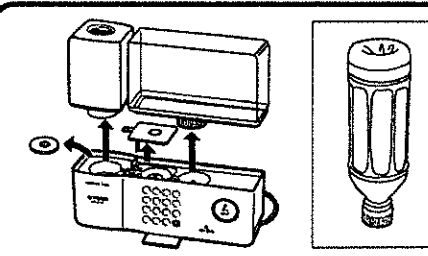
3 差し込みプラグをコンセントに差し込む。

4 ON/OFF キーを押す。

通電ランプが点灯し、約2分後に加湿が開始されます。（水温、室温20℃の場合）
※マイナスイオンも発生します。マイナスイオンは見えません。

●はじめてお使いになるときに、煙が出たり、においがすることがありますが、故障ではありません。また樹脂などのにおいがすることもありますが、ご使用とともに少なくなります。
●部屋の温度・湿度によっては蒸気が見えにくい場合があります。
●水タンク（またはペットボトル）をセットした直後、ON/OFF キーを押すと、給水／上限水位ランプが点灯することがありますが、しばらくして水タンクの水が蒸発皿を満たすと、給水／上限水位ランプが消え、運転を始めます。

水タンク（またはペットボトル）の水が少なくなった場合…

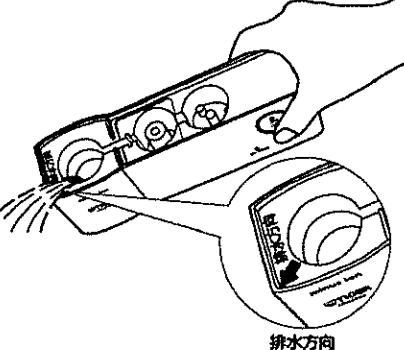
水タンク（またはペットボトル）の水が少なくなると、ヒーターへの通電が自動的に止まり、給水／上限水位ランプが点灯します。

●続けて使用する場合は、いったん電源を切り、本体が冷めてから本体内部に残った水を捨てその後水タンク（またはペットボトル）に水を補給してお使いください。
（本体内部の水の捨て方→11ページの「4.使い終わったら」の4項を参照）

4 使い終わったら

1 ON/OFF キーを押す。

通電ランプが消灯します。

2 差し込みプラグをコンセントから抜く。

3 本体が冷めた後、水タンク（またはペットボトル）、蒸気孔本体、クリーニングフィルター、水路カバーをはずす。

4 下図の要領で、本体内部に残った水を捨てる。

●水を捨てるときは、必ず本体の「排水方向」の刻印の位置より捨ててください。
●違った方向から水を捨てると、お湯が手にかかってやけどをしたり、故障の原因になります。
●水タンク（またはペットボトル）、蒸発皿、本体内部に残った水は放置しないでください。変色やにおいの原因になります。
●ペットボトルを使用した場合で使わなくなったペットボトルを捨てるときは、リサイクルできるように捨ててください。また捨てるときにあやまって専用キャップも捨ててしまわないよう充分ご注意ください。

5 お手入れのしかた

●水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電のおそれがあります。
●本体の丸洗いは絶対にしないでください。本体内部に水が入り、故障の原因になります。
●お手入れするときは、差し込みプラグをはずし、本体が冷めて本体内部の水を捨ててから行ってください。
●洗剤、シンナー、クレンザー、金属たわし、化学ぞうきん、ナイロンたわし、漂白剤などは使わないでください。
●食器洗い乾燥機、食器乾燥器に入れて乾燥させないでください。変形の原因になります。
●お手入れ後は各部品を必ずもとの位置に取りつけてください。正しく取りつけられていないと故障の原因になります。

常に清潔に保ち、性能低下、悪臭を防止するために
こまめにお手入れすることをおすすめします。
水タンク（またはペットボトル）の水は毎日新しい水道水と交換してください。本体内部に残った水は毎日捨ててください。また本体内側は週2回程度定期的にお手入れしてください。

水タンク（またはペットボトル）のお手入れ

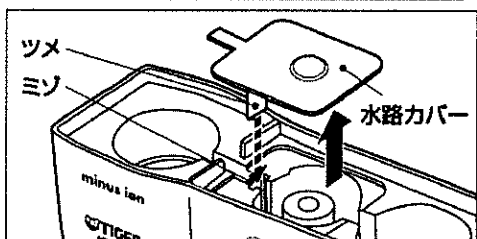
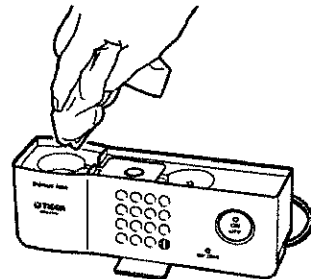
こまめにお手入れして充分にすすぎ洗いをしてください。

クリーニングフィルターのお手入れ

週2回程度、水道水で手もみ洗いしてください。

蒸気孔本体・専用キャップ・水路カバーのお手入れ

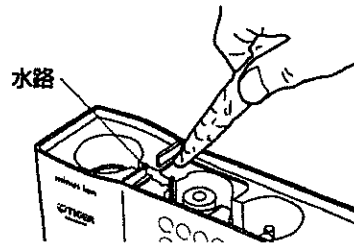
月2回程度、スポンジで洗い、かわいた布でふいてください。

●水路カバーのはずしかた・取りつけかた
はずすときは、上に持ちあげてください。
取りつけるときは、水路カバーのツメを本体のミゾにはめ込んでください。

蒸発皿のお手入れ

●週2回程度よくしぼったふきんで汚れをふき取ってください。
●蒸発皿のお手入れ時に、本体の流し洗いはしないでください。
●クレンザーやたわし類を使わないでください。蒸発皿のフッ素加工面が傷み、汚れが落ちにくくなります。
●蒸発皿にフッ素加工をしていても長期間お手入れしないと、汚れがこびりついて落ちにくくなりますので、こまめにお手入れしてください。

本体のお手入れ

よくしぼったふきんで汚れをふき取ってください。
水路は水路カバーをはずしてから、割りばしなどに布をまきつけて汚れをふきとってください。

専用ポーチ

汚れた場合は手洗いをしてください。

長期間ご使用にならないときは

お手入れ後、各部についた水を乾いた布でふき、日陰で自然乾燥してください。
（特に本体内部、クリーニングフィルターは充分に）
クリーニングフィルターは本体より取りはずしてください。
保管するときは、ポリ袋などで密封し、湿気の少ないところで保管してください。

●湿ったまま保管しないでください。カビの発生する原因になります。
●数日間使用しないときは、水タンク（またはペットボトル）、蒸発皿、本体内部に残った水を捨てておいてください。

6 消耗部品の取り替えについて

クリーニングフィルターは消耗部品です。ご使用にともない、傷んできます。汚れや破損がひどくなったときは交換してください。廃棄するときは不燃物ゴミとして捨ててください。

クリーニングフィルターは、お求めのタイガー製品販売店またはタイガーお客様ご相談窓口（連絡先→14ページ参照）で、部品番号：ASM1000とご指定の上お問い合せください。

樹脂成形品について
※熱や蒸気に触れる成形品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口またはお買い上げの販売店にご相談ください。

7 故障かな?と思ったら

修理を依頼する前に、次の点をお調べください。
下記の点検・処置をしても改善されないときは、
お買い上げの販売店にご相談ください。

ご自分での修理は、危険ですから絶対にしないでください。

こんなときは	ここを見て	こう処理してください	参照ページ
電源を「ON」にしても運転しない	●差し込みプラグがはずれていませんか。	差し込みプラグをコンセントに確実に差し込んでください。	9
蒸気が出ない	●水タンク(またはペットボトル)がカラになっていませんか。	水タンク(またはペットボトル)に水を半分以上入れてください。	9
水が入っているのに給水/上限水位ランプが点灯する	●水タンク(またはペットボトル)を取りつけたまま、本体を移動、持ち運びしていませんか。	本体内部の水を捨て、水タンク(またはペットボトル)をセットし直してください。	2·3·6·9
	●水路カバーがセットされていますか。	本体内部の水を捨て、水路カバーをセットしてください。	5·6·9
	●暖房器具の近くで使用していませんか。	本体内部の水を捨て、暖房器具から離れた位置に本体を置いてください。	4·6
	●不安定な場所や本体を傾けて置いていませんか。	本体内部の水を捨て、水平な場所に本体を置いてください。	2·6
マイナスイオンが出ない、見えない	●通電ランプは点灯していますか。	マイナスイオンは見えません。通電ランプが点灯しているときはマイナスイオンが発生しています。	10
水もれする	●専用キャップを、しっかり閉めていますか。	専用キャップを、しっかり閉めて水タンク(またはペットボトル)を本体に正しく取りつけてください。	9
	●水タンク(またはペットボトル)を取りつけたまま本体を移動、持ち運びしていませんか。	必ず水タンク(またはペットボトル)を取りはずして、本体の移動、持ち運びを行ってください。	3·9
蒸発皿、本体内部に異物がたまる	●クリーニングフィルターを蒸発皿にセットしていますか。	必ずクリーニングフィルターを蒸発皿にセットして使用してください。	7
	●蒸発皿、本体内部を定期的にお手入れしていますか。	蒸発皿、本体内部はこまめにお手入れしてください。	11·12

※樹脂成形品の一部に線状および波状の箇所が見える場合がありますが、これはウエルドラインおよびフローマーク(樹脂成形時に発生する線状および波状の跡)で、ご使用上の品質に支障はありません。

仕様

電源	100V 50-60Hz
消費電力	75W
加湿能力(約)	80mL/h
水タンク(またはペットボトル)容量(約)	500mL
連続加湿時間〈最長〉(約)	6時間(水量・満水、水温、室温・20℃、電圧・交流100V)
マイナスイオン量(約)目安※	10,000個/cm³
サイズ(約)幅×奥行×高さ	21×5.8×15.5cm(スタンド設置時の奥行:8cm)
質量(約)(電源コードを含む)	530g

●適用床面積(目安):木造和室1.8m²、プレハブ洋室3m²(使用状況、環境により異なります。)
※マイナスイオン量について
・6畳にて、本体より50cm前方での数値です。(当社試験室、室温20℃、相対湿度60%にて当社イオン測定器による測定値結果)
・マイナスイオン量は使用環境(室温、湿度、空気の汚れなど)により異なります。